

9 岩倉神社(日畠)

(倉敷市日畠 日畠橋西詰)



岩倉神社は「吉備津彦の命」に関連した「大稻船の命」を祭る神社。「大稻船の命」は「吉備津彦の命」が「温羅」退治の折、軍糧として稻穂を当地で献上、時代を経て第十六代仁徳天皇の御代(313年～399年)にその功により命を賜り、吉備津宮の五社殿を創建した時、この地に岩倉神社として社殿が創建されたと伝わっている。(同神社ホームページ<http://iwakurajinja.com/>より)

当社は仁徳天皇の御代に吉備津宮の五社殿を創建したとき、この岬に社殿を創建したと伝わっている。

吉備津彦命が吉備国に下向のとき、片岡の伊狭穂が栗坂の里で、稻を茹って軍卒に命じて船に積み北に向かったが、急流なので船を廻して、西の岬に荷揚げして軍糧を献じたので名を大稻船と賜った。

潮流の急な所を瀬口、稻を荷揚げした所を稻倉と呼んだ。後に稻倉が岩倉と転訛した。

元禄年間に再興し、明和5年及び安政年間に再建され、現在に至っている。(岡山県神社庁ホームページより)

